

総務

1. 消防の沿革

(1) 伊予市消防本部

昭和 40 年 4 月 1 日	伊予市は消防組織法第10条に基づく政令指定を受け、昭和42年4月1日までの間に消防本部及び消防署の設置が義務づけられた。
昭和 41 年 3 月 22 日	消防本部・署の庁舎落成（木造2階建 延面積281.97㎡）
昭和 41 年 12 月 23 日	伊予市消防本部及び消防署に関する条例制定
昭和 42 年 3 月 31 日	130PS森田式日産FGジープ型42年式を配備 [消防署]
昭和 42 年 4 月 1 日	消防本部・署を開設、常備消防の体制を確立 管理委託のジープ型ポンプ車1台配備。三輪ポンプ車を廃車。 職員数 18名
昭和 42 年 5 月 28 日	トヨペットRS31型を譲り受け、指揮車として配備 [消防署]
昭和 44 年 6 月 9 日	日本損害保険協会からの寄贈によりトヨタ125PSA級を配備。三輪ポンプ自動車廃車 [消防署] 伊予消防署のトヨタジープ型ポンプ自動車を第3分団6部に配備
昭和 45 年 12 月 25 日	日本自動車工業会から寄贈により日産B型救急自動車を配備 [消防署]
昭和 46 年 1 月 1 日	任意救急業務開始

(2) 伊予消防組合

昭和 46 年 6 月 8 日	伊予市を中心とする松前、砥部、広田、中山、双海の各市町を含め消防常備化促進協議会開催
昭和 46 年 9 月 28 日	消防組合、消防本部、消防署、設置政令指定希望申請
昭和 47 年 1 月 19 日	伊予市並びに伊予郡内各町村共催による消防組合設置準備会開催
昭和 47 年 2 月 18 日	消防組合設立準備委員会設置
昭和 47 年 2 月 23 日	消防組合第1回設立準備委員会開催
昭和 47 年 4 月 1 日	構成町村政令指定を受ける
昭和 47 年 4 月 10 日	消防組合第1回設立幹事会開催
昭和 47 年 4 月 17 日	消防組合第2回設立幹事会開催
昭和 47 年 5 月 25 日	消防組合第3回設立幹事会開催
昭和 47 年 5 月 27 日	消防組合第2回設立準備委員会開催
昭和 47 年 7 月 10 日	消防組合第3回設立準備委員会開催
昭和 47 年 7 月 17 日	消防組合第4回設立幹事会開催
昭和 47 年 7 月 25 日	消防組合第5回設立幹事会開催
昭和 47 年 7 月 31 日	消防組合第4回設立準備委員会開催
昭和 47 年 8 月 21 日	消防組合第5回設立準備委員会開催
昭和 47 年 9 月 13 日	愛媛県知事から指令地第737号をもって伊予市、松前町、砥部町、広田村、中山町及び双海町で構成する伊予消防組合が発足
昭和 47 年 10 月 24 日	伊予消防組合第6回設立幹事会開催
昭和 47 年 11 月 16 日	伊予消防組合第6回設立準備委員会開催
昭和 48 年 3 月 30 日	伊予市消防本部署を基幹に1本部、1署、1分署、4出張所、職

員数68名をもって開署式を挙行、翌31日消防業務を開始

昭和 49 年 4 月 1 日 職員数 70名

昭和 49 年 4 月 5 日 補助事業により日機式消防ポンプ自動車BS I 型を配備 [広田出張所]

昭和 49 年 11 月 25 日 補助事業により森田式化学車 I 型を配備 [松前分署]

昭和 50 年 4 月 1 日 職員数 72名

昭和 50 年 12 月 10 日 砥部出張所庁舎新築 (鉄筋コンクリート造一部3階建延面積 344.47m²)

昭和 50 年 12 月 18 日 補助事業により森田式CD- II 型消防ポンプ自動車1台を配備 [消防本部 (署)]

昭和 51 年 4 月 23 日 日本損害保険協会からの寄贈により救急自動車 (トヨタ2B型) を配備 [消防本部 (署)]

昭和 52 年 3 月 31 日 松前分署消防庁舎増築 (鉄筋ブロック造平屋建65.25m²)

昭和 52 年 4 月 26 日 トヨタ2B型救急自動車を配備、旧救急車を廃車 [双海出張所]

昭和 53 年 3 月 16 日 補助事業により森田式消防ポンプ自動車 (BS- I 型) を配備 [松前分署]

昭和 53 年 3 月 28 日 松前町ライオンズクラブからの寄贈により広報車 (ニッサンブルーバード) を配備 [松前分署]

昭和 53 年 4 月 1 日 職員数 78名

昭和 54 年 4 月 1 日 職員数 79名

昭和 54 年 6 月 25 日 広報車 (ニッサン バイオレット) を配備 [双海出張所]

昭和 54 年 10 月 29 日 広報車 (ニッサン サニー) を配備 [広田出張所]

昭和 54 年 12 月 5 日 広報車 (ニッサン セドリック) を配備 [砥部出張所]

砥部出張所の旧広報車を中山出張所に譲渡 [中山出張所]

昭和 55 年 7 月 8 日 消防署庁舎新築 (鉄筋コンクリート造3階建一部塔屋付延面積 1,263.60m²)

昭和 55 年 11 月 6 日 日本損害保険協会からの寄贈により消防ポンプ自動車配備 [消防本部 (署)]

昭和 55 年 12 月 26 日 日本損害保険協会からの寄贈により救急自動車 (トヨタ2B型) を配備。旧救急自動車を廃車 [中山出張所]

昭和 56 年 1 月 22 日 救急自動車 (トヨタ2B型) を配備。旧救急自動車を廃車 [砥部出張所]

昭和 56 年 4 月 1 日 職員数 85名

昭和 56 年 12 月 25 日 広報車 (ニッサン) を配備 旧車両を町役場へ譲渡 [双海出張所]

昭和 57 年 2 月 9 日 北条市消防本部より救急自動車 (トヨタ) を譲り受け、救急車を広報車に転用。広報車を廃車 [広田出張所]

昭和 57 年 4 月 1 日 職員数 88名

(3) 伊予消防等事務組合

昭和 57 年 7 月 31 日 愛媛県知事から指令市第609号をもって組合規約の変更が許可され同日付をもって組合名称が伊予消防組合から伊予消防等事務

- 組合となる。
- 昭和 57 年 11 月 2 日 双海出張所庁舎増築（増築面積32.07㎡）
- 昭和 57 年 11 月 16 日 補助事業（県単）により日機式消防ポンプ自動車（BD I 型）を
配備。旧ポンプ車を廃車〔双海出張所〕
- 昭和 57 年 12 月 1 日 （株）山之内製菓からの寄贈により救急自動車（ニッサ
ン 2B型）を配備。旧救急自動車を廃車〔消防本部（署）〕
- 昭和 57 年 12 月 21 日 広報車（トヨタ カローラ）を配備。旧救急自動車を廃車〔
消防本部（署）〕
- 昭和 58 年 3 月 2 日 消防庁長官表彰（竿頭綬）受章
- 昭和 58 年 4 月 1 日 職員数 92名
- 昭和 59 年 3 月 6 日 補助事業により森田式水槽付消防ポンプ自動車（II 型）を配備
〔消防本部（署）〕
- 昭和 59 年 4 月 1 日 職員数 94名
- 昭和 59 年 8 月 29 日 （財）日本消防協会からの寄贈により救急自動車（ニッサ
ン 2B型）を配備。旧救急自動車を廃車〔広田出張所〕
- 昭和 60 年 12 月 16 日 伊豫信用金庫からの寄贈により救急自動車（トヨタ 2B型）
を配備。旧救急自動車を廃車〔松前分署〕
- 昭和 60 年 12 月 18 日 指令車（トヨタ クラウンバン）を単独事業により配備。旧
指令車を廃車〔消防本部（署）〕
- 昭和 61 年 4 月 1 日 職員数 99名
- 昭和 61 年 11 月 7 日 （財）日本防火協会からの寄贈により伊予地区少年婦人防火委
員会に防火広報車（イスズ ファーゴ）を配備〔消防本部〕
- 昭和 61 年 12 月 24 日 愛媛県共済農業協同組合連合会からの寄贈により救急自動
車（ニッサン 2B型）を配備。旧救急車を廃車〔双海出張所〕
- 昭和 62 年 3 月 12 日 広報車を廃車〔広田出張所〕
- 昭和 62 年 4 月 1 日 職員数 102名
- 昭和 62 年 7 月 21 日 単独事業により広報車（トヨタ カローラバン）を配備〔広
田出張所〕
- 昭和 62 年 8 月 28 日 （財）日本消防協会からの寄贈により救急自動車（ト
ヨタ 2B型）を配備。旧救急自動車廃車〔砥部出張所〕
- 昭和 63 年 3 月 5 日 伊豫信用金庫からの寄贈により救急車（トヨタ 2B型）を配
備。旧救急自動車廃車〔消防本部（署）・中山出張所〕
- 昭和 63 年 3 月 8 日 補助事業（県単）により日機式消防ポンプ自動車（BS I 型）を
配備。旧ポンプ車を廃車〔広田出張所〕
- 昭和 63 年 3 月 22 日 補助事業（県単）により小川式消防ポンプ自動車（BD I 型）を
配備。旧ポンプ車を廃車〔中山出張所〕
- 平成 元年 4 月 1 日 職員数 101名
- 平成 3 年 2 月 2 日 国庫補助事業により消防緊急情報システム（I 型）を設置〔消
防本部（署）〕
- 平成 3 年 3 月 26 日 松前分署庁舎及び松前防災センター新築（鉄筋コンクリート造3
階建一部4階建延面積1,783.82㎡）
- 平成 3 年 3 月 30 日 補助事業（県単）により小川式消防ポンプ自動車（BD I 型）を
配備。旧ポンプ車を廃車〔砥部出張所〕

平成 3 年 4 月 1 日	消防本部及び消防署に関する条例の一部改正により、消防署を伊予消防署に、松前分署を松前消防署に名称を変更 職員数 100名
平成 3 年 8 月 9 日	広報車（トヨタ マークⅡ）を配備 [松前消防署]
平成 3 年 12 月 14 日	広報車（トヨタ マークⅡ）を配備 [双海出張所]
平成 3 年 12 月 21 日	消防ポンプ自動車（BD-Ⅰ）を廃車 [消防本部（署）]
平成 4 年 3 月 31 日	広報車（ニッサン ブルーバード）を廃車 [松前消防署]
平成 4 年 4 月 1 日	職員数 106名
平成 4 年 4 月 14 日	広田出張所庁舎新築（1階鉄筋コンクリート造2階木造、2階建延面積211.98㎡）
平成 4 年 6 月 16 日	防火広報車を廃車 [消防本部]
平成 4 年 12 月 18 日	補助事業により消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ）を配備 [消防本部（署）]
平成 5 年 3 月 23 日	日本損害保険協会からの寄贈により救助工作車（Ⅱ）を配備 [消防本部（署）]
平成 5 年 3 月 31 日	消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ）を廃車 [消防本部（署）]
平成 5 年 4 月 1 日	救助隊発足（職員8名配置） 職員数 117名
平成 5 年 6 月 29 日	広報車（スバル 軽ワゴン4WD）を配備 [砥部出張所]
平成 5 年 8 月 5 日	広報車（セドリックバン）を廃車 [砥部出張所]
平成 5 年 10 月 12 日	査察車（三菱 軽ワゴン4WD）を配備 [消防本部（署）]
平成 5 年 10 月 27 日	愛媛県共済農業協同組合連合会からの寄贈により救急自動車を配備。旧救急自動車廃車 [松前消防署]
平成 5 年 12 月 8 日	補助事業によりはしご付消防ポンプ自動車（18m級）を配備 [松前消防署]
平成 6 年 1 月 1 日	はしご隊発足（職員6名配備）
平成 6 年 4 月 1 日	職員数 124名
平成 6 年 6 月 29 日	資機材搬送車（トヨタ ハイエース）を配備 [中山出張所]
平成 6 年 11 月 10 日	補助事業により化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配備 [松前消防署]
平成 6 年 11 月 22 日	化学消防ポンプ自動車（Ⅰ型）を廃車 [松前消防署]
平成 7 年 3 月 15 日	2B型救急車及び広報車（ニッサン ADバン）を配備。旧救急自動車、旧広報車（カローラバン）を廃車 [消防本部（署）]
平成 7 年 4 月 1 日	職員数 126名
平成 7 年 11 月 29 日	補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配備 [松前消防署]
平成 7 年 12 月 4 日	消防ポンプ自動車（21号）を廃車 [松前消防署]
平成 8 年 3 月 11 日	伊予消防署に救助訓練塔、車庫棟新築（183.54㎡）
平成 8 年 4 月 1 日	職員数 134名
平成 8 年 8 月 1 日	水難救助隊発足（伊予消防署）
平成 8 年 8 月 2 日	救急車（2B）配備、旧救急自動車を廃車 [広田出張所]
平成 8 年 11 月 18 日	愛媛県共済農業協同組合連合会からの寄贈により救急自動車（2B）を配備 [伊予消防署]

平成 8 年 12 月 6 日 救急車 (2B) を配備。旧救急自動車を廃車 [双海出張所]

平成 9 年 2 月 26 日 高速救急隊発足 (伊予消防署)

平成 9 年 4 月 1 日 職員数 133名

平成 9 年 9 月 26 日 救急自動車 (2B) を配備。旧救急自動車を廃車 [中山出張所]

平成 10 年 3 月 16 日 救急自動車 (2B) を配備。旧救急自動車を廃車 [砥部出張所]

平成 10 年 3 月 31 日 伊予消防署庁舎増築 (103.60㎡) 計1,367.20㎡

平成 10 年 4 月 1 日 携帯電話119番通報受信運用開始
職員数 137名

平成 10 年 12 月 28 日 補助事業により消防ポンプ自動車 (CD-I) を配備。旧消防ポンプ自動車を廃車 [双海出張所]

平成 11 年 3 月 31 日 小型動力ポンプ付水槽車を配備。旧小型動力ポンプ付水槽車を廃車 [砥部出張所]

平成 11 年 4 月 1 日 職員数 139名

平成 11 年 7 月 19 日 広報車 (ニッサン ウィングロード4WD) を配備。旧広報車廃車 [広田出張所]

平成 11 年 8 月 27 日 資機材搬送車 (ホンダ 軽四トラック) を配備 [双海出張所]

平成 11 年 11 月 29 日 指令車を配備。旧指令車を廃車 [消防本部 (署)]

平成 12 年 2 月 28 日 補助事業により消防ポンプ自動車 (CD-I) を配備。旧消防ポンプ自動車を廃車 [松前消防署]

平成 12 年 3 月 21 日 補助事業により高規格救急自動車を配備。旧救急自動車を廃車 [消防本部 (署)]

平成 12 年 4 月 1 日 救急救命士による特定行為運用開始
職員数 140名

平成 12 年 11 月 21 日 補助事業により高規格救急自動車を配備。旧救急自動車を廃車 [松前消防署]

平成 12 年 12 月 5 日 補助事業により小型動力ポンプ付水槽車 (I型) を配備 [消防本部 (署)]

平成 13 年 4 月 1 日 職員数 146名

平成 14 年 4 月 1 日 職員数 145名

平成 15 年 4 月 1 日 職員数 147名

平成 15 年 11 月 25 日 消防ポンプ自動車 (ニッサン サファリ) を廃車 [消防本部 (署)]

平成 16 年 4 月 1 日 水難救助隊廃止 (伊予消防署)
職員数 146名

平成 16 年 12 月 17 日 補助事業により消防ポンプ自動車 (CD-I) を配備。旧消防ポンプ自動車を廃車 [中山出張所]

平成 16 年 12 月 21 日 補助事業により水槽付消防ポンプ自動車 (II型) を配備。旧森田式水槽付消防ポンプ自動車 (II型) を廃車 [消防本部 (署)]

平成 16 年 12 月 27 日 愛媛県知事から指令16市 (合) 第307号をもって組合規約の変更が許可され、市町村合併により平成17年1月1日付けをもって、1市4町の構成となる。

平成 17 年 2 月 10 日 中山出張所庁舎新築 (鉄骨コンクリート造2階建延面積416.36㎡)

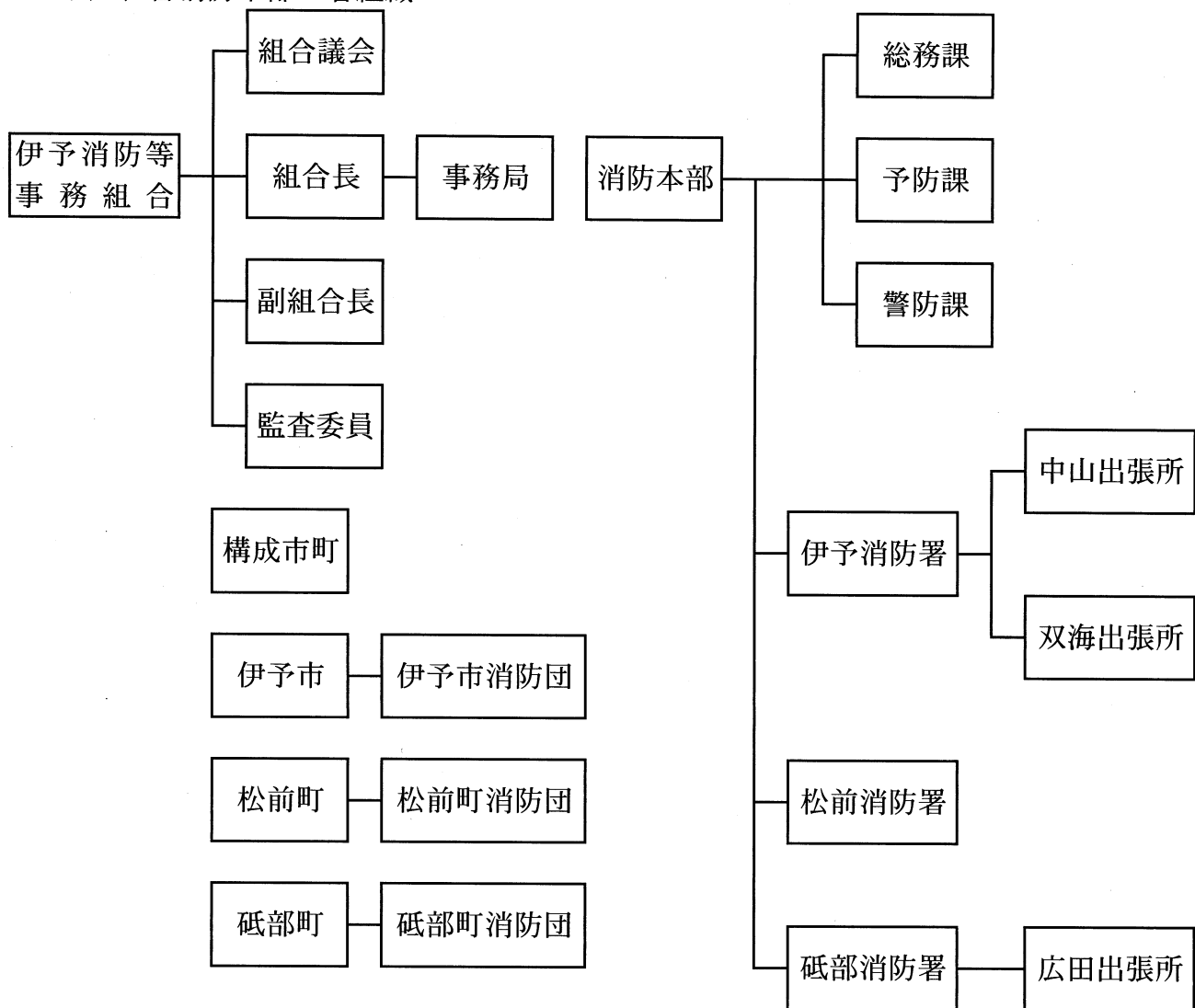
	中山出張所に救助訓練塔、訓練資材庫新築 (12.00㎡)
平成 17 年 3 月 23 日	愛媛県知事から指令16市 (合) 第422号をもって組合規約の変更が許可され、市町村合併により平成17年4月1日付けをもって、1市2町の構成となる。
平成 17 年 4 月 1 日	職員数 147名
平成 18 年 3 月 16 日	高規格救急自動車を配備 [砥部出張所] 砥部出張所の旧救急自動車 (2B) を配備 [広田出張所]
平成 18 年 4 月 1 日	広田出張所の救急車 (2B) を予備車として配備 [消防本部] 職員数 148名
平成 18 年 8 月 1 日	広報車 (ダイハツ ハイゼット4WD) を配備。旧広報車を廃車 [砥部出張所]
平成 18 年 12 月 21 日	補助事業により高規格救急自動車を配備 [双海出張所]
平成 19 年 1 月 25 日	救急自動車 (2B) を廃車 [双海出張所]
平成 19 年 4 月 1 日	組織再編により、砥部出張所を砥部消防署に名称を変更し、1本部3消防署3出張所体制となる。 職員数 148名
平成 19 年 10 月 23 日	査察車 (ニッサン クリッパーバン) を配備。旧査察車を廃車 [伊予消防署]
平成 19 年 11 月 26 日	査察車 (ダイハツ ハイゼット4WD) を配備 [中山出張所]
平成 19 年 12 月 26 日	双海出張所庁舎新築 (鉄骨造2階建延面積327.41㎡)
平成 20 年 4 月 1 日	職員数 156名
平成 20 年 6 月 20 日	資機材搬送車 (ニッサン アトラス) を配備 [伊予消防署]
平成 21 年 2 月 9 日	高規格救急自動車を配備、旧救急自動車 (2B型) を廃車 [伊予消防署]
平成 21 年 4 月 1 日	職員数 153名
平成 21 年 11 月 27 日	広報車 (ニッサン クリッパーバン) を配備 [双海出張所]
平成 21 年 12 月 10 日	広報車 (トヨタ マークII) を廃車 [双海出張所]
平成 22 年 2 月 9 日	高規格救急自動車を配備 [松前消防署]
平成 22 年 2 月 10 日	高規格救急自動車を配備 [中山出張所]
平成 22 年 2 月 25 日	救急自動車 (2B) を廃車 [中山出張所]
平成 22 年 3 月 16 日	指揮支援車 (トヨタ ハイエース) を配備 [松前消防署]
平成 22 年 3 月 26 日	消防ポンプ自動車 (BD-I) を廃車 [広田出張所]
平成 22 年 3 月 30 日	救急予備車 (2B) を廃車 [消防本部] 消防ポンプ自動車 (CD-I) を配備 [砥部消防署] 砥部消防署の旧消防ポンプ自動車を配備 [広田出張所]
平成 22 年 3 月 31 日	消防ポンプ自動車 (CD-I) を配備 [伊予消防署] 松前消防署の高規格救急自動車を予備車として配備 [消防本部]
平成 22 年 4 月 1 日	砥部町からの寄贈により小型動力ポンプ付積載車を配備 [砥部消防署] 職員数 155名
平成 22 年 4 月 8 日	広報車 (トヨタ マークII) 廃車 [松前消防署]
平成 22 年 5 月 18 日	消防ポンプ自動車 (CD-I) 廃車 [伊予消防署]
平成 23 年 2 月 7 日	全国共済農業協同組合連合会からの寄贈により高規格救急

自動車を配備 [伊予消防署]

平成 23 年 2 月 10 日	予備車 (高規格救急自動車) を廃車 [消防本部]
平成 23 年 2 月 15 日	伊予消防署の旧高規格救急自動車を予備車として配備 [消防本部]
平成 23 年 4 月 1 日	職員数 156名
平成 23 年 5 月 26 日	消防ポンプ自動車 (CD-I) 廃車 [広田出張所]
平成 23 年 9 月 16 日	ワゴン車 (トヨタハイエース) を配備 [伊予消防署]
平成 24 年 2 月 10 日	消防ポンプ自動車 (CD-I) を配備 [広田出張所]
平成 24 年 3 月 21 日	資機材搬送車 (トヨタ ハイエースバン) を廃車 [松前消防署]
平成 24 年 3 月 30 日	資機材搬送車 (日野 デュトロ) を配備 [松前消防署]
平成 24 年 4 月 1 日	職員数 155名
平成 24 年 10 月 19 日	資機材搬送車 (トヨタ ハイエース) を廃車 [中山出張所]
平成 25 年 2 月 7 日	高規格救急自動車を配備 [広田出張所]
平成 25 年 2 月 15 日	資機材搬送車 (スズキ エブリィ) を配備 [中山出張所]
平成 25 年 3 月 8 日	救急自動車 (2B) を廃車 [広田出張所]
平成 25 年 3 月 19 日	消防緊急通信指令システム (II 型) を消防本部に整備 消防救急デジタル無線施設を補助事業により整備
平成 25 年 3 月 22 日	伊予消防署庁舎・車庫棟新築 (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建延面積2,140.01㎡) 伊予消防署訓練塔新築 (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造5階建延面積530.30㎡) 伊予消防署砂置き場新築 (鉄骨造平屋建延面積18.00㎡)
平成 25 年 4 月 1 日	職員数 157名
平成 25 年 11 月 12 日	本部連絡車 (ホンダ フィット) を配備 [消防本部]
平成 25 年 12 月 20 日	高規格救急自動車を配備 [双海出張所]。旧高規格救急車を本部予備車として配備 [消防本部]
平成 25 年 12 月 24 日	旧予備車 (高規格救急自動車) を廃車 [消防本部]
平成 26 年 1 月 31 日	砥部消防署庁舎、訓練塔、土のう備蓄庫新築
平成 26 年 2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車を配備 [松前消防署]
平成 26 年 2 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車 (II 型) を廃車 [松前消防署]
平成 26 年 2 月 20 日	救助工作車 (II 型) を配備 [消防本部]
平成 26 年 2 月 26 日	旧救助工作車 (II 型) を廃車 [消防本部]
平成 26 年 4 月 1 日	職員数 156名

2. 消防機構

(1) 組合消防本部・署組織



(2) 消防庁舎の現況

名称	所在地	建築構造	建築延面積
本部 伊予消防署	伊予市下吾川950-3	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	2,140.01㎡
松前消防署 (防災センター含)	伊予郡松前町大字筒井809-1	鉄筋コンクリート造3階建 一部4階建	1,783.82㎡
砥部消防署	伊予郡砥部町宮内1350-2	鉄筋コンクリート造3階建 一部鉄骨造5階建	1,366.37㎡
広田出張所	伊予郡砥部町総津427	1階鉄筋コンクリート造 2階木造	211.98㎡
中山出張所	伊予市中山町中山丑508	鉄骨コンクリート造2階建	416.36㎡
双海出張所	伊予市双海町上灘甲5818-1	鉄骨造2階建	327.41㎡

3. 消防本部の事務分掌

- 総務課 機構、組織に関する事。
消防関係条例等の制定手続きに関する事。
職員の人事管理並びに給料及び諸手当に関する事。
職員の給貸与品に関する事。
職員の出張、研修及び福利厚生に関する事。
公印の管守に関する事。
予算、決算その他経理に関する事。
物品の購入、修繕、出納及び公有財産の管理に関する事。
消防業務の総合施策及び運営に関する事。
組合議会に関する事。
監査事務に関する事。
規律保持及び志気作興並びに表彰及び監察に関する事。
調査統計及び広報に関する事。
職員の教養訓練に関する事。
秘書、渉外並びに署及び出張所間の連絡調整に関する事。
消防業務研究会に関する事。
- 予防課 火災予防に関する事。
建築申請の消防同意に関する事。
防火管理者の講習及び指導育成に関する事。
予防広報に関する事。
予防査察及び指導統制に関する事。
火災予防条例に関する事。
住宅防火及び防火団体の指導育成に関する事。
危険物製造所等の許認可及び指導取締りに関する事。
高压ガス消費者に対する立入検査に関する事。
液化石油ガス設備工事届出の受理に関する事。
諸証明に関する事。
火災の原因、損害の調査及び報告に関する事。
放火及び失火の証拠保全並びに警察連絡に関する事。
- 警防課 災害の警備に関する事。
消防計画に関する事。
消防地理及び水利に関する事。
消防機械器具並びに消防通信の運用及び保全に関する事。
警防及び水防訓練に関する事。
自衛消防隊の指導育成に関する事。
少年消防クラブに関する事。
警報等の発令及び伝達に関する事。
道路障害等に関する事。
防火対象物の強制執行及び補償に関する事。
救急救助対策に関する事。
救急救助技術の研究、指導及び訓練に関する事。

救急救助統計に関すること。
救急医療機関との連絡調整に関すること。
患者等搬送事業の指導に関すること。
救急救助資器材の整備計画及び維持管理に関すること。

4. 消防署・出張所の事務分掌

庶務担当 公印の取扱いに関すること。
職員の出張、研修及び福利厚生に関すること。
予算、その他経理に関すること。
物品の出納及び保管に関すること。
文書の收受発送に関すること。
その他庶務に関すること。

予防担当 火災予防に関すること。
建築申請の消防同意に関すること。
消防用設備等の設置指導に関すること。
予防広報に関すること。
予防査察及び指導統制に関すること。
火災予防条例に関すること。
住宅防火に関すること。
危険物製造所等の許認可及び指導取締りに関すること。
高圧ガス消費者に対する立入検査に関すること。
液化石油ガス設備工事届出の受理に関すること。
り災証明に関すること。
火災の原因、損害の調査及び報告に関すること。
放火及び失火の証拠保全並びに警察連絡に関すること。

警防担当 災害の警備に関すること。
消防計画に関すること。
消防地理及び水利に関すること。
消防機械器具並びに消防通信の運用及び保全に関すること。
自衛消防隊の指導育成に関すること。
警報等の発令及び伝達に関すること。
道路障害等に関すること。
救急救助出動に関すること。
救急救助訓練及び教養に関すること。
救急救助統計に関すること。
救急救助資器材の維持管理に関すること。
救急講習に関すること。

5. 位置及び地勢

当地域は、沖積層からなり、松山平野の南西に属し、中予地区の中心部即ち愛媛県の略中央部に位置し、東西28kmの山間、中山間部(79%)より平地、海岸部(21%)に至る複雑な自然的地理条件を有し、その面積は316.36km²であり、このうち市街地又は最大密集地面積は20.3km²である。

6. 消防機関配置図

(26. 4. 1 現)



7. 行政区域別地目別面積

(26. 4. 1 現)(km²)

区域	地目別								合計
	水田	畑	宅地	山林	果樹園	雑種地	鉄道軌道用地	その他	
伊予市	12.45	28.91	7.09	106.36	7.89	1.82	0.59	29.36	194.47
松前町	8.40	0.70	5.60			0.70		4.92	20.32
砥部町	2.48	14.71	3.35	66.52		0.55		13.96	101.57
合計	23.33	44.32	16.04	172.88	7.89	3.07	0.59	48.24	316.36

8. 行政区域別人口及び世帯数

(26. 4. 1 現)

区域	人		世帯数	
	22年国勢調査	住民基本台帳より	22年国勢調査	26.4.1
		26.4.1		
伊予市	38,017	38,735	13,959	15,782
松前町	30,359	30,895	11,308	12,891
砥部町	21,981	21,913	8,272	9,087
合計	90,357	91,543	33,539	37,760

9. 歴代組合長

(26. 4. 1 現)

年代	氏名	在職期間	在職年数	備考
初代	玉本善三郎	自昭和 47 年 11 月 16 日 至昭和 50 年 2 月 2 日	2 年 4 ヶ月	市長兼務
2代	岡本要	自昭和 50 年 3 月 6 日 至平成 7 年 2 月 2 日	20 年 0 ヶ月	市長兼務
3代	増野英作	自平成 7 年 3 月 2 日 至平成 11 年 2 月 2 日	4 年 0 ヶ月	市長兼務
4代	中村佑	自平成 11 年 3 月 4 日 至平成 25 年 4 月 23 日	14 年 2 ヶ月	市長兼務
5代	武智邦典	自平成 25 年 4 月 24 日 現在に至る	年 ヶ月	市長兼務

10. 組合管理者

(26. 4. 1 現)

区分	職名	氏名	備考
管理者	組合長	武智邦典	伊予市長
	副組合長	白石勝也	松前町長
	副組合長	佐川秀紀	砥部町長

11. 消防職員の階級別実員調

(26. 4. 1 現)

階級別 署所別	階級別							合計
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防本部	1	3	7	2	7		4	24
伊予消防署		1	8	5	9	6	16	45
中山出張所			1	1	3	2	3	10
双海出張所			1	2	2	1	4	10
松前消防署		1	5	6	8	7	9	36
砥部消防署 (広田出張所 含)		1	4		9	5	12	31
合計	1	6	26	16	38	21	48	156

12. 消防組合予算（当初）

区 分 費 目	平成25年度		平成26年度		22年国調人口 人
	予算額 千円	比 率 %	予算額 千円	比 率 %	
事 務 局	301,565	2.0	303,859	17.8	人口1人当り 当初予算額 円
消 防 本 部	300,733	△ 29.9	537,754	31.4	
一般消防本部	136,275	△ 61.1	245,940	14.4	
救 助 隊 (設備整備費含)	130,344	197.5	47,037	△ 63.9	2.7
は し ご 隊 (設備整備費含)	34,114	△ 0.6	244,777	617.5	14.3
伊 予 消 防 署	347,883	△ 50.5	331,181	△ 4.8	19.3
高 速 救 急 隊	62,339	△ 2.6	60,870	△ 2.4	3.6
松 前 消 防 署 (防災センター管理費含)	266,738	19.8	211,665	△ 20.6	12.4
砥 部 消 防 署	611,447	124.6	265,996	△ 56.5	15.5
合 計	1,890,705	△ 4.8	1,711,325	△ 9.5	100.0
					8,711
					38,017
					6,972
					30,359
					12,101
					21,981
					90,357

13. 平成26年度伊予消防等事務組合予算節別内訳表（消防費のみ）

（単位：千円）

歳	入		出								合 計
	科 目	予 算 額	科 目	事 務 局	消 防 本 部 (救助隊・はしご隊含)	伊 予 消 防 署 (中山・双海 出張所含)	高 速 救 急 隊	松 前 消 防 署 (防災センター含)	砥 部 消 防 署 (広田出張所含)	合 計	
分担金及び負担金		1,497,314	報 酬	546							546
使用料及び手数料		4,301	給 料	5,063	94,247	173,184	31,066	113,003	106,035		522,598
財産収入		7	職 員 手 当 等 費	3,092	62,688	115,219	23,320	74,876	75,558		354,753
繰越金		339	共 済 費	176,052		572					176,624
諸収入		4,364	賃 金			3,765					3,765
組合債		205,000	報 償 費	150	50			124	15		339
			旅 費	1,296	620	662	357	711	454		4,100
			交 際 費	180							180
			需 用 費	579	10,897	19,421	3,120	11,881	12,349		58,247
			役 務 費	104	9,195	3,080	394	2,425	2,218		17,416
			委 託 料	629	35,040	4,209	418	3,219	2,391		45,906
			使用料及び賃借料	10	1,286	2,011	10	540	209		4,066
			工事請負費						24,556		24,556
			原材料費		20			190	30		240
			備品購入費		212,112	7,041	31	3,468	40,649		263,301
			負担金補助及び交付金	116,158	1,708	1,617	2,121	1,127	1,384		124,115
			積立金		1,807						1,807
			公課費		197	400	33	101	148		879
			計	303,859	429,867	331,181	60,870	211,665	265,996		1,603,438
			元金		102,716						102,716
			利息		4,171						4,171
			予備費		1,000						1,000
合 計		1,711,325	合 計	303,859	537,754	331,181	60,870	211,665	265,996		1,711,325